

認知症ケアを通して考える これからの高齢者介護

参加費
無料

平成20年に厚生労働省が制定した11月11日「介護の日」にあわせて、本会では毎年度、福祉関係者の方をはじめ、広く一般の皆さんに「介護の素晴らしさ」を知っていただき、福祉・介護サービスの意義や関心を一層深めて頂くことで、結果的には福祉人材の確保・定着へもつながるのではないかと考えシンポジウムを開催しています。

今年度は、認知症についての正しい基礎知識やそのケア・対応について理解を深め、実際の介護者からの共に支え、支えられることから気づく介護の素晴らしさについてのメッセージに耳を傾けることで、これまでの自身のケアの振り返りはもちろん、これからの高齢者介護について共に考えることを目的に開催します。

平成23年

開催
日時

11月4日 金
13:00~17:10

開催
場所

兵庫県農業会館 11F
大ホール

講演 1 「認知症高齢者を支えるために」

姫路獨協大学 医療保健学部作業療学科 教授
横井 賀津志 氏



認知症についての基礎知識やそのケア・対応方法を中心に講演いただくなかで、作業療法士の視点を通して「介護現場における認知症ケアの現状と今後の期待」、また、今後我々が、認知症高齢者を支えるために、持つべき視点や介護観についても触れていただきます。

よこい かつし
横井 賀津志 さん

●プロフィール

(学歴) 神戸大学大学院医学系研究科 博士前期課程 修了
和歌山県立医科大学大学院博士後期課程 在籍

(職歴) 四天王寺悲田院にて老年期障害と発達障害のリハビリを経験
姫路聖マリア病院にて身体障害のリハビリを経験
株式会社メディケア・リハビリにて福祉用具の選定を経験
医療法人嘉誠会(かせいかい)にて介護予防活動を経験
現在、姫路獨協大学医療保健学部作業療学科 教授

講演 2 「支える側が支えられるとき

～認知症の母が教えてくれたこと～

詩人・児童文学作家 藤川 幸之助 氏

認知症のお母様の介護の日々のなかで、自身が感じられた葛藤や混乱、喜び、支える側が支えられたときに気づかれたことを詩文集や詩集などに綴られている藤川幸之助さん。詩文集のあとがきに「声を発さない、言葉を持たない母の心の底深くにある静けさから伝わってくるものがある。」「私も母も、お互いを支え、お互いに支えられているのです。」と語られています。

多くの方に認知症を理解してもらいたいとの思いのなか、詩の朗読を交えながらご自身の介護経験を全国各地で講演されています。

藤川さんが、「声のない言葉のない母の心を詩に起こす」時に気づいた支える側が支えられるときとは？

今、介護現場で頑張るスタッフ、また認知症の方を介護するご家族の方々へ藤川さんからの温かいメッセージをお届けします。



(読売新聞社提供)

とびら
扉

ふじかわ こうの すけ
藤川 幸之助 さん

●プロフィール

1962年生まれ。長崎大学教育学部大学院修士課程修了
認知症の母親に寄り添いながら、命や認知症を題材に作品を作り続け、全国各地で認知症への理解を深めるために講演活動を実施されています。著作に詩文集『まなざしかいご 認知症の母と言葉をこえて向かいあうとき』(中央法規)、写真詩集『この手の空っぽは きみのために 空けてある』(PHP出版)『満月の夜、母を施設に置いて』対談・谷川俊太郎 絵・松尾たいこ(中央法規)など。

私がホームから帰ってしまおうと
私が出ていった重い扉の前に
母はびったりとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。
それでも
母を老人ホームに入れたまま
私は帰る。
母にとっては重い重い扉を
私はひょいと開けて
また今日も帰る。
「満月の夜、母を施設に置いて」(中央法規)

藤川幸之助

プログラム

13:00 開会挨拶・オリエンテーション

13:10 講演①
「認知症高齢者を支えるために」

姫路獨協大学医療保健学部作業療法学科
教授 横井 賀津志 氏

14:40 休憩

14:55 講演②
「支える側が支えられるとき
～認知症の母が教えてくれたこと～」

詩人・児童文学作家 藤川 幸之助 氏

17:00 閉会挨拶

会場地図



兵庫県農業会館

〒650-0024
神戸市中央区海岸通1丁目

参加対象

介護保険事業者・福祉関係者・行政関係者・福祉系学生ほか
…興味のあるかたならどなたでも

申込方法

★下記①～③のいずれかの方法でお申し込みください。

①下記申込書式に必要事項を記入のうえFAXまたは郵送にて下記まで送付する。

②往復ハガキに下記申込書式の必要事項を記入のうえ期日までに送付する。

③下記申込書式の必要事項を入力し、メール送信する。
(アドレス:info@hyogo-kenroukyo.jp)

※メールの件名に「介護の日シンポジウム申込」と必ず入力してください。

★定員になり次第締め切ります。(先着順) なお、お断りする際のみご連絡をいたします。

★申込方法①については特に参加券等は発行いたしません。
本会からの連絡がなければ参加可能とご判断ください。

★申込方法②については返信用ハガキ、申込方法③については本会からの返信メールが参加券となります。当日で持参ください。

その他

★会場内は飲食が禁じられております。

★参加者の皆様の個人情報、参加者名簿作成等、本研修事業の目的外で使用することはなく、無断で他者に提供することはございません。

★会場は、空調設備の細かい調整が難しいため、体温調節が可能な服装(脱着できるもの)でお越しください。

申込締切 **平成23年10月20日(木)**

**お申込・
お問い合わせ先**

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター6F

TEL:078-291-6822 FAX:078-291-6811 Eメール:info@hyogo-kenroukyo.jp

(社)兵庫県老人福祉事業協会 事務局担当:小島・杉本

☆ボールペンで必ず記入してください。

介護の日シンポジウム 参加申込書

名 前	職 業	所属団体名:	
		住所 〒	
		連絡先	

※複数でお申込の場合は、代表者の方の連絡先をご記入ください。

このシンポジウム案内の入手方法について、
あてはまるものに○をいれてください。

1. 兵庫県老協 2. 各種別協 3. 行政諸機関
4. 福祉系学校 5. その他 ()

【備考】